

令和 8 年度 北海道大学低温科学研究所 研究集会

「極域海洋研究：日本が先導する海洋・海氷・大気統合研究」

場所：北海道大学低温科学研究所 2 階講義室 (ハイブリッド)

日時：2026 年 6 月 25 日 (木) 13 時から 17 時半 R はリモートでの発表

● 趣旨の説明：砕氷船の今後

13:00 大島慶一郎(北大低温研)：特別推進研究に関して

13:10 R: 田村岳史(極地研)：今後の「しらせ」「みらい II」観測の見通し

● 北極関係

13:25 R: 木村仁・深井悠里(藤原周)(JAMSTEC)：海氷設置型漂流ブイ観測:速報と今後の観測

13:40 R: 小平翼(東大新領域)：波浪ブイ観測の速報、今後の観測

13:55 伊東素代(JAMSTEC)：「みらい II」での観測に向けて (準備状況)

14:05 大島慶一郎(北大低温研)：バロー沖の 12 年連続係留海氷・海洋データの解析

14:15 松村建(北大低温研)：バロー沖の流速変動：風・ベ어링フラックス・海氷との関係

14:30 二橋創平(苫小牧高専)：簡易カメラと機械学習による海氷モニター

14:37 Vigan Mensah(苫小牧高専)：Drifting buoy observation, applied to ice albedo-feedback

○14:45-15:00 休憩

15:00 佐藤和敏(極地研)：海氷域で雲・エアロゾル観測；準備状況と今後の観測

15:15 小野純：海氷・海洋結合モデルによる海氷融解プロセスと経年変動

15:30 Chen(北大低温研)・柏瀬(苫小牧高専):北極海のアルベドフィードバック：衛星解析序報

● 南極関係

15:40 二橋創平(苫小牧高専)：南極海の家氷激減とアルベドフィードバック

15:55 平野大輔(大橋良彦)：JARE 観測速報：トッテン沖での棚氷・海氷・海洋相互作用の観測

16:10 大西晴夏・草原和弥・大島慶一郎：南極斜面潜流の形成メカニズム解明に向けて

16:20 町田柁志：ケープダンレーポリニヤでの DSW/AABW 形成過程

16:35 柏瀬陽彦：50 年の全球海氷生産量の見積もりと南極底層水の関係

● 16:50 総合 Discussion

● 17:10～ 懇親会